

# SPI (下田式性格検査法) の改訂版の作成とその有効性の研究 (SPI 改訂版の作成第 2 報)

田中宏尚・塩見邦雄\*・吉岡千尋\*\*

## 1 本研究の目的と方法

### (1) SPI 改訂版作成までの経過 (注)

SPI (下田式性格検査法以下 SPI と略す) は躁鬱病の病前性格として執着性格を提唱し実証した、著名な精神医学者であった下田光造博士 (1941, 1957) の性格理論に基づいている。SPI (下田式性格検査法) の新改訂版の作成 (第 1 報) (2000) において、SPI の由来、第 4 版 (1987) をもって完成したその標準化までの過程、さらに SPI を用いたこれまでの研究を紹介し、そのうえで、改訂版の質問内容、それをを用いた調査研究を報告した。

執着性格の臨床像について、下田はその中心的特徴を「熱中性、徹底性、強い義務責任感」に置き、一方下田を再評価した平沢 (1962, 1966) はその中心的特徴として、「几帳面、仕事熱心、対人態度」においていた。そして両者の執着性格が我が国において再認識される論文がドイツのテレンバッハ (1961) によって発表された。彼は鬱病の病前性格として、メランコリー親和型性格 (*typus melancholicus*) をあげ、その臨床像は平沢の執着性格と類似性が非常に高いものであった。終身雇用や年功序列といった社会においてはまじめで几帳面で自分のためよりも組織のために頑張る他人配慮的で良心的な執着性格型の人々は模範人間として評価されたが、しかし社会構造の変化とともにそういう変動的な社会においては執着性格型の人々はついていくのが難しくなってきた。1980年代以後、鬱病や自殺の増加は執着性格型の人間にとって住みづらくなっていることを表しているものと思われる。SPI 標準化版において、執着性格の臨床像を平沢やテレンバッハのものではなく、下田のものを中心に記載し作成されていた。

\*塩見邦雄 (兵庫教育大学) \*\*吉岡千尋 (医療法人仁厚会)

改訂版の作成の目的は平沢の執着性格、テレンバッハのメランコリー親和型性格を測定する質問項目を追加することにあつた。この性格特性をSPI研究会では配慮型性格と名付けていたが、その質問内容の作成にあたり、笠原(1984)やZerssenのF-listの日本語版を作成し検討した佐藤、坂戸、小林(1992)の研究を参考にした。笠原の質問表から4項目、F-listの日本語版から8項目、それらを趣旨を変えない程度に表現を改めている。また研究会では独自に配慮型性格を表すと思われる質問を2項目作成し、合計14の質問項目を用意した。標準版において各性格特性の質問項目数は各10個であるが、配慮型性格は安全を考え少し多めの14質問項目を準備した。

その結果改訂版においてはこれまでの分裂(内閉)性格(S)、神経過敏性格(N)、自己不全性格(U)、執着性格(I)、同調性格(C)、自己顕示(ヒステリー)性格(H)に加えて配慮型性格(TM)を追加し、それに検証(L)尺度をあわせた8尺度からなっている。なおその際、各性格特性のネーミングを検討し、分裂(内閉)性格(S)を自閉性格に、自己不全性格(U)を内向性格に、同調性格(C)を社交性格に改めた。

## (2) SPI改訂版の内容とその標準化

改訂版は新性格特性14質問項目と標準版の70質問項目を加えた合計84質問項目からなっている。なおこの機会に標準版70項目中11質問項目に元の意味を変えない範囲でわかりやすい表現に改めた。

改訂版の標準化に当たり、高校生から社会人まで調査を実施した。その結果高校生968人、大学生・専門学校生323人、社会人553人合計1,844人の回答をえた。調査の分析は因子分析を中心におこない、その結果虚偽尺度を含む8因子が抽出され、推計学的に同定できた。しかし各因子に含まれる該当質問項目に多少の差がみられた。第1因子(F1)は内向性格(U)が中心になっており、第2因子(F2)はおおむね自己顕示性格(H)が、第3因子(F3)は自閉性格(S)、第4因子(F4)は配慮型(TM)、社交性格(C)、執着性格(I)が含まれていたが、その中心は今回加えた配慮型性格(TM)が予想された。第5因子(F5)は虚偽尺度(L)を、第6因子(F6)は執着性格(I)、第7因子(F7)は社交性格(C)、第8因子(F8)は神経過敏性格(N)を表しているものと思われた。

SPI研究会は改訂版の標準化に当たり、質問項目数をいくつにするかについて討議することになった。その結果、因子分析結果などを考慮し、最終的に各性格特性と1虚偽尺度を8質問項目、合計64質問項目からなるSPI

改訂版にすることを決定した。その質問内容については資料として巻末に載せている。

### (3) 本研究の目的と方法

本研究の目的は、64質問項目からなる SPI 改訂版の妥当性を検討することにある。その具体的方法として、前回と同じく因子分析による検討、ならびに Y-G 性格検査の各尺度との相関があるかどうかの検討をおこなう。さらに調査対象者に実際面接を行い、面接時の印象などと SPI 性格検査の関係についても検討することを目的としている。

次に研究方法についてであるが、調査対象、調査時期については以下に示したとおりである。

- ① 調査対象者：SPI 改訂版を600人に実施し、大学生・専門学校、社会人計439人の回答を得た。男性165名、女性274名であった。年齢は18才から68才の範囲であった。また Y-G 性格検査を上記の大学生の一部に実施し、145人の回答を得た。
- ② 調査時期：平成13年1月から2月15日におこない、回収した。なお SPI 改訂版に基づく面接は平成13年3月から6月にかけておこなった。

## 2 結果と考察

### (1) SPI 改訂版の因子分析結果

439人のデータについて、はい=2点、?=1点、いいえ=0点を得点化してデータ処理をおこなった。64質問項目中、逆転項目が7つあり、それらの質問番号は16, 22, 24, 32, 40, 64であった。

因子分析は64項目の各々1項目を1変数としておこなった。因子分析をおこなうにあたり、64項目に対する応答を用いて、項目相互間の相関係数を算出した。その項目相互間の相関係数の算出にあたっては、まず2項目間における「はい」、「?」、「いいえ」の分布を示す9分割表を作成し、次に周辺度数が1/2ずつに近くなるように、「?」の応答数を「はい」、または「いいえ」のどちらか一方の応答数と合算して4分割表を作成した。因子分析はこれらの相関係数に基づいて、まず主因子解法によって、固有値を検討し、その後バリマックス回転をおこなった。10番目までの固有値を表1に示した。

表1 主因子解による固有値

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Eigenvalue	5.6633	4.5614	3.3219	2.8135	2.3150	2.1942	1.7716	1.5738	1.4783	1.4606
Difference	1.1018	1.2396	0.5083	0.4985	0.1207	0.4227	0.1977	0.0955	0.0178	0.0422
Proportion	0.0885	0.0713	0.0519	0.0440	0.0362	0.0343	0.0277	0.0246	0.0231	0.0228
Cumulative	0.0885	0.1598	0.2117	0.2556	0.2918	0.3261	0.3538	0.3784	0.4015	0.4243

バリマックス回転は7因子についておこない、表2にSPI改訂版の因子分析結果を示した。

表2 SPI改訂版の因子分析 (Varimax Rotated Method)

	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7
43 私は、はにかみや(恥ずかしがり屋)のために人前で話すことなど苦手です。	0.70950	-0.0352	-0.04597	-0.04759	0.01547	0.01564	-0.00771
27 私は、気が小さくて遠慮深いほうです。	0.69424	0.06174	-0.03178	0.12433	0.08472	0.10284	0.05969
51 私は、ひっこみ思案のためによく横をするほうです。	0.69195	0.13335	-0.00388	0.15907	0.00115	-0.00961	-0.05025
11 私は、「ちゅうちゅ」することが多いので、過小評価されると思います。	0.65172	0.06553	0.06356	0.00599	-0.03684	0.11051	0.00207
35 私は、親しい人の前では自由にふるまえるが、目上の人や見知らぬ人の前では…。	0.63968	-0.04084	0.08198	0.11214	-0.03155	-0.01632	0.13912
59 私は、人前にでるとあがつてドキドキして困ります。	0.61165	0.02661	0.09113	-0.09516	0.09842	0.03439	0.14463
3 私は、何事につけ自信が持てず充分だという気がしません。	0.56377	-0.03740	0.15946	-0.01851	0.09562	0.15049	-0.13861
19 私は、何事につけ皆よりも劣っていると思いがちです。	0.53965	-0.00500	0.07059	-0.07383	-0.02860	0.16322	-0.19016
30 私は、冗談好きで皆を笑わすことが多いほうです。	-0.35579	0.20334	0.33520	-0.23916	-0.02790	0.01904	0.02354
46 私は、新しい環境にすぐ慣れるほうです。	0.40892	0.20557	0.07051	-0.19807	-0.30782	-0.17962	0.02426
62 私は、他人と親しみやすく人なつっこいほうです。	-0.49744	0.31577	0.16179	-0.30600	-0.23311	0.11978	0.02518
53 私は、善良な人だとよくいわれています。	0.02799	0.59128	-0.10678	0.12728	-0.13254	0.00283	0.01342
21 私は、他の人のために働くときに、特にやりがいを感じ慎重になるほうです。	0.04071	0.55073	0.05658	-0.13763	-0.01520	0.14055	0.09542
20 私は、責任感が強すぎるといわれます。	-0.10988	0.53760	0.08066	0.14985	0.15367	0.19691	-0.10735
29 私は、世話好きで人のめんどうをよくみるほうです。	-0.14737	0.48019	0.18888	-0.17879	0.08119	0.04478	0.05404
36 私は、与えられたすべての仕事を誰からも批判されずに終えたいと気をくばるほうです。	0.07822	0.46516	0.01537	0.14111	0.05189	0.02833	0.25747
37 私は、人から「正直すぎる」といわれます。	0.05898	0.44296	0.05357	0.00136	-0.04359	0.15149	-0.28337
61 私は、何か贈物をもらったらすぐにお返しをするほうです。	-0.03828	0.43270	-0.05002	-0.11854	0.09698	0.02562	-0.00368
5 私は、なによりもまず義理を大切にします。	0.00966	0.42660	0.04089	0.04073	-0.07582	0.02202	-0.08815
13 私は、常識を非常に大切にするほうです。	0.05892	0.41998	-0.05737	-0.06728	0.12777	-0.10451	0.11099
6 私は、生真面目すぎると言われます。	0.09379	0.35979	-0.04195	0.26825	0.31648	0.10029	-0.17954
4 私は、いつも時と場所をわきまえてふるまうほうです。	0.03683	0.35481	-0.14622	0.08182	-0.09851	0.03927	0.31793
44 私は、情(じょう)にもろいほうです。	-0.03054	0.35042	0.12366	-0.25101	-0.08989	0.16844	0.12980
45 私は、何かやりだしたら最後までやりとげなければ気がすまないほうです。	-0.16666	0.34618	0.01501	0.02429	0.33233	0.02091	-0.13737
39 私は、大げさなほうかも知れません。	-0.02941	0.10785	0.64339	-0.02097	-0.12348	0.06759	0.10389
15 私は、見えづらいほうです。	0.12197	0.05724	0.62309	0.11372	-0.00522	-0.06997	0.12020
55 私は、目立ちたがり屋のほうです。	-0.29413	0.12259	0.57445	-0.04407	-0.08756	-0.01827	-0.00948
47 私は、わがままなほうです。	0.01970	-0.16711	0.56447	0.07846	0.09875	0.02047	-0.08447
63 私は、あきやすく新しいものを敬しくなったりします。	0.04900	-0.10035	0.50265	0.00278	-0.12403	0.01047	0.06226
7 私は、さいさいなことで喜んだり不機嫌になったりするほうです。	0.15156	-0.01905	0.47931	0.06846	0.22968	0.04324	0.03813
31 私は、やきもちやきのほうです。	0.11272	0.08331	0.46798	-0.17959	0.10967	0.03536	0.05349
60 私は、何かに興味をもつとやめられず、つい本来のことを忘れてしまいます。	0.00073	0.13106	0.38817	0.19872	-0.04345	0.11470	-0.31088
23 私は、人から甘えすぎるといわれます。	0.05139	-0.14045	0.32365	-0.18631	-0.01518	0.13974	-0.31991

0 私は、孤独を好むほうです。	0.1214	0.05538	0.06895	0.88399	0.04701	-0.10598	0.05048
41 私は、人と一緒にいるよりも一人でしたいことをするのが好きです。	0.14779	0.07489	-0.02957	0.65159	-0.01280	-0.00810	-0.01849
57 私は、一人で本を読むとか自然と親しんだりするのが好きです。	-0.0125	0.13254	-0.12567	0.43131	-0.08122	0.17789	0.10503
17 私は、気むずかしいとか気がこころがしれないといわれたことがあります。	0.08185	0.00170	0.20883	0.42327	0.18648	0.12753	-0.13325
49 私は、人嫌いなほうです。	0.19510	-0.21601	0.16905	0.42312	0.13606	0.03753	-0.24824
9 私は、物事の裏を考えそのまま信用しないほうです。	-0.05979	-0.01907	0.10630	0.28185	0.20215	0.05187	0.02448
33 私は、物事に無関心でどうでもよいと思うことが多いほうです。	0.17787	-0.25402	0.17607	0.26659	-0.21669	-0.12130	-0.21488
38 私は、交際が広く友人も多いほうです。	-0.36836	0.31355	0.19482	-0.37686	-0.13725	0.04615	-0.08350
25 私は、あらゆる人と親しくすることをとても大切だと考えます。	0.07208	0.33764	0.15461	0.47376	-0.05260	-0.07828	0.00412
2 私は、神経質なほうです。	0.11749	0.16999	0.11372	0.10918	0.66947	0.01040	0.02909
52 私は、几（き）帳面で何事もきちんとしなければ気がすまないほうです。	-0.03213	0.45873	-0.09694	0.03725	0.57900	-0.04683	-0.12241
28 私は、整理せいでとんが好きなほうです。	-0.01351	0.35823	-0.13630	-0.06992	0.44004	-0.19179	-0.02845
22 私は、なやみごとがあってもあまり気にしないほうです。	-0.13075	0.05130	-0.02387	0.12434	-0.43244	-0.34684	-0.16063
14 私は、のんきやで朗らかなほうです。	-0.04902	0.18867	-0.01188	-0.16732	-0.49125	-0.09369	-0.21996
54 私は、楽天的なほうです。	-0.25627	0.16902	0.07463	-0.07114	-0.56518	-0.17602	-0.13795
42 私は、気候や環境の変化で身体の具合が悪くなるほうです。	0.08545	0.06623	0.05233	0.02450	-0.00424	0.71000	-0.02740
34 私は、頭痛、はき氣、じん麻疹などがよくおこるほうです。	0.01444	-0.05933	0.05016	0.01391	-0.04356	0.65898	-0.06497
26 私は、緊張したり、心配ごとがあると身体の調子が悪くなりがちです。	0.22980	0.19084	0.00741	-0.11040	0.13371	0.57254	-0.03068
50 私は、身体の調子が狂いやすいくいつも健康に気をくばっています。	-0.07368	0.20887	-0.05033	0.04716	-0.01208	0.56877	-0.03611
18 私は、旅行をしたりすると、便秘や下痢をしたり眠れないことがよくあるほうです。	0.19767	-0.03247	-0.03011	0.09846	0.10719	0.44576	0.08675
10 私は、恐怖心が強く、昆虫や蛇（は）虫類などを人一倍怖がるほうです。	0.18484	-0.02222	0.14961	-0.19718	0.15958	0.34988	0.03331
58 私は、眼りが浅く、よく目を覚まします。	0.02194	0.11472	0.06572	0.20663	0.06284	0.34674	0.04572
32 私は、勝負ごとには負けるよりも勝たたいです。	-0.08219	0.18234	0.21100	0.06037	-0.12798	0.06088	0.49982
40 私は、知っている人が全部好きというわけではありません。	-0.03338	0.01470	0.10786	0.14213	0.13584	-0.07030	0.45440
64 私は、ときどき人のうわさ話をします。	-0.00716	-0.09831	0.33815	-0.21356	-0.02397	0.07585	0.43377
24 私は、人に嫌われるよりも好かれます。	0.05715	0.15030	0.06030	-0.26437	-0.08317	-0.13933	0.29857
48 私は、今までに異性を好きになったことはありません。	0.08364	-0.13557	-0.04628	0.22991	-0.09247	-0.09902	-0.23737
8 私は、自分の習慣はどれもこれもよい習慣だと思います。	-0.06259	0.24620	-0.07109	0.00395	-0.06895	-0.14886	-0.29082
16 私は、下品な冗談をおもしろいと思ったことはありません。	0.10964	0.09121	-0.11001	0.22079	-0.05418	-0.06796	-0.33004
12 私は、こり性（しょう）で過労になるぐらい物事に熱中しがちです。	-0.11008	0.26014	0.14924	0.18614	0.22784	0.16672	-0.35931
56 私は、皆の前でののしられても何とも思いません。	-0.12734	0.061601	0.11884	0.01522	-0.12148	-0.00191	-0.38511

表2に0.4以上の非常に高い因子負荷量を持つ質問項目について網かけをしているが、各因子に含まれる該当質問項目に多少の差はあれ、7因子が抽出されている。以下因子ごとの結果を説明し、考察を加えたい。

(a) 第1因子 (F1)

第1因子は表2より10の項目から成り立っており、そのうち内向性格(U)は8質問項目すべてが入り、その他に社交性格(C)が2項目含まれている。以上よりこの因子は自分に自信が持てず人からどう見られているかを気にしやすい内向性格(U)を表わしているものと思われる。また社交性格(C)はマイナスであり、その因子が此方に移動してきているのは納得できる。

(b) 第2因子 (F2)

第2因子は9の項目から成り立っており、そのうち7つが配慮型性格(TM)で、その他に執着性格(I)が2つ含まれている。以上より、この因子は配慮型性格(TM)であることが考えられる。またここに執着性格(I)

が2つ含まれていることも、その作成経過から十分に納得のいくものである。

(c) 第3因子 (F3)

第3因子は7項目から成り立っており、そのすべてが自己顕示性格 (H) であった。

(d) 第4因子 (F4)

第4因子は6項目から成り立っており、そのすべてが自閉性格 (S) であった。

(e) 第5因子 (F5)

第5因子も同じく6項目からなっている。そのうち社交性格 (C) が3項目、執着性格 (I) が2つ、後は神経過敏性格 (N) であった。この因子は楽天さやおおらかさ、そして身体的タフネスを示しているように思われる。

(f) 第6因子 (F6)

第6因子は5項目からなっている。そのすべてが神経過敏性格 (N) であった。

(g) 第7因子 (F7)

第7因子は3項目から成り立っており、そのすべてが虚偽尺度 (L) であった。

また、因子負荷量0.3以上ないしそれに近い項目もおおむね虚偽尺度 (L) であった。

以上記述してきたように、7因子解により、それらの因子に含まれる項目数に違いはあれ7因子が同定されている。しかしSPI第1報(2000)と比較すると大きな問題点も残されている。その一番大きな問題は前回の研究でも同定された執着性格の存在である。熱中性、徹底性、強い義務責任感を中心とする下田の執着性格の特徴を表す文章を作成したつもりであったが、今回、加えた配慮型性格や以前からある社交性格などに引っ張られあいまいになったものと思われる。

しかし前述のように本論文の(2)SPI改訂版の内容とその標準化の項で述べたように8因子解で執着性格も同定されている。8因子解の結果を待ってさらに詳しい考察を加えたい。

## (2) 各性格特性の平均点と標準偏差

各性格特性と虚偽尺度の平均点と標準偏差を表3に示した。

表3 各性格特性の平均点と標準偏差

性格特性	男性(N=169) 平均±SD	女性(N=280) 平均±SD	合計(N=449) 平均±SD
S ***	6.90±3.93	5.55±3.13	6.05±3.51
N	4.34±3.11	4.79±3.66	4.62±3.47
U	7.73±4.60	8.26±4.78	8.06±4.72
I	8.49±3.38	8.02±3.51	8.20±3.46
T M	9.50±3.70	9.65±3.41	9.59±3.52
C	8.67±4.27	8.96±3.85	8.85±4.01
H	8.77±3.96	8.69±4.04	8.72±4.01
L ***	1.89±2.16	1.30±1.65	1.53±1.88

(\*\*\*は0.1%レベルで有意差を示す)

表3より、もっとも高く出ているのは今回追加した配慮型性格(TM)で次に社交性格(C)で、最も低く出ているのは神経過敏性格(N)でその次は自閉性格(S)であった。おおむね予想どおりの平均点の順であった。

次に男女別の平均点で有意差のみられた性格は自閉性格(S)と虚偽尺度(L)の2つだけであった。女性の方が自閉性が低いというこの結果は日常生活をみても納得のいく結果であろう。他の性格特性において、有意な違いがみられなかったが、これも女性の社会進出が一般化していることも影響しているものと考えられる。

次に今回の各性格特性の平均と標準偏差をこれまでのSPIの得点と比較してみることにする。表4に下田式性格検査解説書(1987)に記載しているSPIの各バージョン版の平均などを載せた。各バージョンにより、各性格の満点が異なり、また調査対象年齢も異なるので厳密な比較は難しいが、時代的変化が表れている。

表4 SPI各バージョンの平均点と標準偏差

年 度	57年度	58年度	59年度	60年度
版	VER.2	VER.3	VER.4	VER.4
自閉性格(S)	7.9±4.7	5.9±4.3	6.0±4.2	6.4±4.2
神経過敏性格(N)	6.2±4.3	4.6±3.6	4.7±3.5	6.5±3.9
自己不全性格(U)	12.0±6.2	11.3±5.5	11.1±5.5	9.9±5.2
執着性格(I)	11.3±4.9	7.8±4.4	8.1±4.3	8.4±4.3
粘着性格(E)	8.9±4.0	8.2±3.2	8.1±3.2	////////
同調性格(C)	13.4±4.8	11.6±4.4	12.1±4.2	13.0±4.5
自己顕示性格(H)	10.4±5.1	8.7±4.5	8.8±4.6	8.9±4.7

- 注1. 第2版は96質問項目, 各性格24点満点  
 2. 第3版は80質問項目, 各性格20点満点  
 3. 第4版は70質問項目, 各性格20点満点  
 4. 各版とも検証尺度を含む

### (3) SPI性格検査とY-G性格検査の関係について

新しい性格テストを作成する場合、その妥当性を検討するために既存の信頼性の高い性格検査を用い、それと比較し検討することが必要とされる。今回は最もよく用いられている矢田部ギルフォード(Y-G)性格検査(1982)を使用した。表5にSPI性格検査とY-G性格検査の尺度別相関を示した。Y-G性格テストは抑うつ性(D)、回帰性(C)、劣等感(I)、神経質(N)、客観性欠如(O)、協調性欠如(CO)、攻撃性(AG)、一般的活動性(G)、のんきさ(R)、思考的外向(T)、支配性(A)、社会的外向(S)の12尺度からなりたっている。

表5 SPI改訂版とY-G性格検査の尺度別相関(N=145)

S尺度との相関						
S尺度	社会的外向S	支配性A	思考的外向T	のんきさR	一般的活動性G	愛想の悪さAG
S尺度	1.00000	-0.38210	-0.21071	-0.28019	-0.25224	-0.27992
	0.0	0.0001***	0.0110**	0.0006***	0.0022**	0.0006***
		協調性欠如CO	客観性欠如O	神経質N	劣等感I	回帰性C
S尺度	0.31527	0.13118	0.20466	-0.14065	-0.02175	0.21181
	0.0001***	0.1158	0.0135**	0.3403	0.7951	0.0105**
N尺度との相関						
N尺度	社会的外向S	支配性A	思考的外向T	のんきさR	一般的活動性G	愛想の悪さAG
N尺度	1.00000	-0.21522	-0.15583	-0.27782	-0.08290	-0.13349
	0.0	0.0093**	0.0613	0.0007***	0.3215	0.1094
		協調性欠如CO	客観性欠如O	神経質N	劣等感I	回帰性C
N尺度	0.17234	0.28049	0.46351	0.32807	0.31446	0.34322
	0.0382*	0.0006***	0.0001***	0.0001***	0.0001***	0.0001***

U尺度との相関

U尺度	社会的外向S	支配性A	思考的外向T	のんきさR	一般的活動性G	愛想の悪さAG
U尺度 1.00000	-0.57687	-0.59147	-0.31247	0.01688	-0.37004	-0.13727
0.0	0.0001***	0.0001***	0.0001***	0.8403	0.0001***	0.0997
	協調性欠如CO	客観性欠如O	神経質N	劣等感I	回帰性C	抑うつ性D
U尺度	0.37548	0.38644	0.44464	0.67485	0.29977	0.51970
	0.0001***	0.0001***	0.0001***	0.0001***	0.0002***	0.0001***

I尺度との相関

I尺度	社会的外向S	支配性A	思考的外向T	のんきさR	一般的活動性G	愛想の悪さAG
I尺度 1.00000	-0.00370	0.09895	-0.38316	-0.08825	0.12684	0.09008
0.0	0.9648	0.2364	0.0001***	0.2912	0.1284	0.2813
	協調性欠如CO	客観性欠如O	神経質N	劣等感I	回帰性C	抑うつ性D
I尺度	0.08895	0.06463	0.29433	0.10287	0.12818	0.16662
	0.2874	0.4399	0.0003***	0.2182	0.1244	0.0452*

TM尺度との相関

M尺度	社会的外向S	支配性A	思考的外向T	のんきさR	一般的活動性G	愛想の悪さAG
M尺度 1.00000	0.10413	0.14685	-0.29646	0.05368	0.24376	0.21421
0.0	0.2126	0.0780	0.0003***	0.5214	0.0031**	0.0097**
	協調性欠如CO	客観性欠如O	神経質N	劣等感I	回帰性C	抑うつ性D
M尺度	0.03633	0.17346	0.29953	0.15123	0.23894	0.22047
	0.6644	0.0369*	0.0003***	0.0694	0.0038**	0.0077**

C尺度との相関

C尺度	社会的外向S	支配性A	思考的外向T	のんきさR	一般的活動性G	愛想の悪さAG
C尺度 1.00000	0.56479	0.41689	0.25638	0.48794	0.50201	0.26153
0.0	0.0001***	0.0001***	0.0019**	0.0001***	0.0001***	0.0015**
	協調性欠如CO	客観性欠如O	神経質N	劣等感I	回帰性C	抑うつ性D
C尺度	-0.17967	-0.06681	-0.36426	-0.31809	-0.07784	-0.22232
	0.0306*	0.4246	0.0001***	0.0001***	0.3520	0.0072**

H尺度との相関

H尺度	社会的外向S	支配性A	思考的外向T	のんきさR	一般的活動性G	愛想の悪さAG
H尺度 1.00000	0.08364	0.06437	-0.12335	0.44378	0.13388	0.46539
0.0	0.3172	0.4418	0.1394	0.0001***	0.1084	0.0001***
	協調性欠如CO	客観性欠如O	神経質N	劣等感I	回帰性C	抑うつ性D
H尺度	0.39004	0.43483	0.34002	0.23074	0.57209	0.36751
	0.0001***	0.0001***	0.0001***	0.0052**	0.0001***	0.0001***

L尺度との相関

L尺度	社会的外向S	支配性A	思考的外向T	のんきさR	一般的活動性G	愛想の悪さAG
L尺度 1.00000	-0.16893	-0.02514	0.00042	-0.15256	-0.21627	-0.09076
0.0	0.0422	0.7641	0.9960	0.0670	0.0090	0.2776
	協調性欠如CO	客観性欠如O	神経質N	劣等感I	回帰性C	抑うつ性D
L尺度	0.11251	0.00937	-0.05441	-0.01893	-0.11627	0.01077
	0.1779	0.9109	0.5157	0.8213	0.1637	0.8977

(注) 表中の\*は5%レベル、\*\*は1%、\*\*\*は0.1%レベルで有意である。

### ① S（自閉性格）との関係

表5より自閉性格と相関があったのは社会的外向（-）、支配性（-）、のんきさ（-）、一般的活動性（-）、協調性欠如、神経質、抑うつ性の8尺度と相関があり、その関係は臨床的にもそれをよくとらえていると思われる。たとえば自閉性格が高いことは社会的外向が低く、また協調性欠如が高いことはよくみられる現象と思われる。

### ② N（神経過敏性格）との関係

同様に社会的外向（-）思考的外向（-）負の相関が見られ、協調性欠如、客観性欠如、神経質、劣等感、回帰性、抑うつ性と正の相関の計7つと相関関係がみられた。これも臨床家であれば、納得されるであろう。

### ③ U（内向性格）との関係

内向性格も社会的外向（-）、支配性（-）、思考的外向（-）、一般的活動性（-）と負の相関が見られ、協調性欠如、客観性欠如、神経質、劣等感、回帰性、抑うつ性と正の相関がみられた。自分に自信が持てず、他者からどう思われているかを気にしやすい内向性格者にとって、この関係はぴったりとくるものではなかろうか。

### ④ I（執着性格）との関係

執着性格は思考的外向（-）と負の相関が、神経質と抑うつ性とに正の相関が見られた。熱中性、徹底性、強い義務責任感の執着性格者にとって、外向きの考え方よりも内省的になりやすく、ともしれば神経質になったり、落ち込んでしまうことも考えられよう。

### ⑤ TM（配慮型性格）との関係

配慮型性格は思考的外向と負の相関が見られ、一般的活動性、愛想の悪さ、客観性欠如、神経質、回帰性、抑うつ性と正の相関がみられた。几帳面で良心的で人や組織の維持のためにつくしやすい配慮型性格はともしれば内省的で、神経質になったり抑うつ的になりやすいことは予想できるが、愛想が悪く攻撃的な面は意外な結果であった。

### ⑥ C（社交性格）との関係

社交性格は社会的外向、支配性、思考的外向、のんきさ、一般的活動性、攻撃性と正の相関が見られ、協調性欠如（-）、神経質（-）、劣等感（-）、抑うつ性（-）と負の相関がみられた。内向性格と正反対であるが、これも臨床的に納得できるものと思われる。

### ⑦ H（自己顕示性格）との関係

自己顕示性格はのんきさ、愛想の悪さ、協調性欠如、客観性欠如、神経質、

劣等感、回帰性、抑うつ性と正の相関がみられた。自己中心的で目立ちたがりの自己顕示性格者の特徴をよく捉えているが、のんきさと正の相関がみられたのが意外であった。

#### ⑧ L（虚偽尺度）との関係

当然といえば当然であるが、いずれの尺度とも相関が見られなかった。

以上の相関関係から見てわかるように、SPI 改訂版も妥当性の高い性格検査であることが証明された。

#### (4) 面接結果について

SPI 改訂新版の調査結果について、結果の説明に応じた学生、教職員は18人、19人の37人であった。調査結果と面接時の性格像をどう比較するかについては難しい問題が残されているが、今回、私（田中）が用いた方法は、結果のプロフィールをまず説明し、その結果の一致度について印象を尋ねる方法を用いた。その一致度についてどういう尺度を用いるのが適切であるか、考慮したが今回は印象だけを尋ねることにした。そのため客観的な資料でないで今回は考察の対象から外すことにした。

### 3 要約

本研究は標準化された SPI 改訂版の妥当性に関する調査である。(1) SPI 改訂版は追加された配慮型性格を含む7性格特性と虚偽尺度各8質問項目合計64項目からなっている。(2)大学生・専門学校生、社会人にたいして SPI 改訂版を実施し439人の回答を得た。また SPI を実施した大学生の一部に Y-G 性格検査を実施し145人の回答を得た。(3) SPI 改訂版を7因子解による因子分析をおこなった結果、新しく追加した配慮型性格は同定されたが、しかし一方執着性格は同定されなかった。それに対して若干の考察を加えたが、8因子解による因子分析の結果を待って詳しい考察をおこないたい。(4)各性格特性の平均点と標準偏差の結果を示した。男女差のみられた性格は自閉性格だけであった。(5) SPI 性格検査と Y-G 性格検査の尺度別相関をおこなった。その結果これまでの臨床的所見と一致する興味深い結果が得られた。

(注) SPI（下田式性格検査法）の新改訂版の作成（第1報）（2000）において、新改訂版や改訂新版など用語の統一がなされていない。本研究では

SPI（下田式性格検査法）標準版（バージョン4）以後のものはすべて改訂版としている。

#### 謝辞

本研究にあたり、熊本県地域貢献研究費の交付を受けることが出来感謝申し上げます。この助成なしには本研究には着手できなかった。

調査対象者としてご協力いただいた、熊本県立大学学生及び教職員、西日本リハビリテーション学院学生、兵庫教育大学教育学部の学部生・大学院生の皆様に感謝申し上げます。

#### 参考文献

- 平沢 一 1962 うつ病にあらわれる「執着性格」の研究。精神医学, 4, 229-237.  
平沢 一 1966 軽症うつ病の臨床と予後。医学書院。  
笠原 嘉 1984 各科を訪れる可能性のあるデプレッション。心身医学, 24, 6-12.  
佐藤哲哉, 坂戸薫他 1992 質問紙法によるメランコリー型性格の測定 - F-List(Zerksen) 日本語版の信頼性と妥当性 -。精神医学, 34(2), 139-146.  
下田光造 1941 躁うつ病の病前性格について。精神経誌, 45, 101-102.  
下田光造 1957 精神衛生講話。同文書院。  
塩見邦雄, 吉岡千尋, 田中宏尚 1987a 下田式性格検査 (SPI) 解説書。日本文化科学社。  
田中宏尚, 塩見邦雄, 吉岡千尋 2000 SPI (下田式性格検査法) の新改訂版の作成 (第1報)、熊本県立大学文学部紀要 VOL7, NO1, p105-120。  
Tellenbach, M 1961 Melancholie. Springer。  
辻岡美延 1982 新性格検査法, 日本心理テスト研究所

## 資料 SPI（下田式性格検査法）改訂版

1. 私は、孤独を好むほうです。
2. 私は、神経質なほうです。
3. 私は、何事につけ自信が持てず充分だという気がしません。
4. 私は、いつも時と場所をわきまえてふるまうほうです。
5. 私は、なによりもまず義理を大切にします。
6. 私は、生真面目すぎると言われます。
7. 私は、やきもちやきのほうです。
8. 私は、自分の習慣はどれもこれもよい習慣だと思えます。
  
9. 私は、物事の裏を考えそのまま信用しないほうです。
10. 私は、恐怖心が強く、昆虫や爬（は）虫類などを人一倍怖がるほうです。
11. 私は、「ちゅうちょ」することが多いので、過小評価されると思えます。
12. 私は、こり性（しょう）で過労になるぐらい物事に熱中します。
13. 私は、常識を非常に大切にします。
14. 私は、のんきやで朗らかなほうです。
15. 私は、見えっぱりなほうです。
16. 私は、下品な冗談をおもしろいと思ったことはありません。
  
17. 私は、気むずかしいとか気がころがしれないといわれたことがあります。
18. 私は、旅行をしたりすると、便秘や下痢をしたり眠れないことがよくあるほうです。
19. 私は、何事につけ皆よりも劣っていると思いがちです。
20. 私は、責任感が強すぎると言われます。
21. 私は、他の人のために働くときに、特にやりがいを感じ慎重になるほうです。
22. 私は、なやみごとがあってもあまり気にしないほうです。
23. 私は、人から甘えすぎると言われます。
24. 私は、人に嫌われるより好かれます。
  
25. 私は、あらゆる人と親しくすることをとても大切だと考えます。
26. 私は、緊張したり、心配ごとがあると身体の調子が悪くなりがちです。
27. 私は、気が小さくて遠慮深いほうです。
28. 私は、整理せいとんが好きなほうです。
29. 私は、世話好きで人のめんどうをよくみるほうです。
30. 私は、冗談好きで皆を笑わすことが多いほうです。
31. 私は、ささいなことでも喜んだり不機嫌になったりするほうです。
32. 私は、勝負ごとには負けるよりも勝ちたいです。
  
33. 私は、物事に無関心でどうでもよいと思うことが多いほうです。
34. 私は、頭痛、はき気、じん麻疹などがよくおこるほうです。
35. 私は、親しい人の前では自由にふるまえるが、目上の人や見知らぬ人の前ではおじけづいてしまいます。
36. 私は、与えられたすべての仕事を誰からも批判されずに終えたいと気をくばるほうです。
37. 私は、人から「正直すぎる」と言われます。
38. 私は、交際が広く友人も多いほうです。
39. 私は、大げさなほうかもしれません。
40. 私は、知っている人が全部好きというわけではありません。

41. 私は、人と一緒にいるよりも一人でしたいことをするのが好きです。
42. 私は、気候や環境の変化で身体の具合が悪くなるほうです。
43. 私は、はにかみや（恥ずかしがり屋）のために人前で話すことなど苦手です。
44. 私は、何かやりだしたら最後までやりとげなければ気がすまないほうです。
45. 私は、情（じょう）にもろいほうです。
46. 私は、新しい環境にすぐ慣れるほうです。
47. 私は、わがままなほうです。
48. 私は、今までに異性を好きになったことはありません。
  
49. 私は、人嫌いなほうです。
50. 私は、身体の調子が狂いやすくいつも健康に気をくばっています。
51. 私は、ひっこみ思案のためによく損をするほうです。
52. 私は、几（き）帳面で何事もきちんとしなければ気がすまないほうです。
53. 私は、善良な人だとよくいわれています。
54. 私は、楽天的なほうです。
55. 私は、目立ちたがり屋のほうです。
56. 私は、皆の前でののしられても何とも思いません。
  
57. 私は、一人で本を読むとか自然と親しんだりするのが好きです。
58. 私は、眠りが浅く、よく目を覚まします。
59. 私は、人前にでるとあがってドキドキして困ります。
60. 私は、何かに興味をもつとやめられず、つい本来のことを忘れてしまいます。
61. 私は、何か贈物をもらったらすぐにお返しをするほうです。
62. 私は、他人と親しみやすく人なつこいほうです。
63. 私は、あきやすく新しいものを欲しくなったりします。
64. 私は、ときどき人のうわさ話をします。